の保健室ひだまり

ト体験

講座

お楽しみ袋へ して貸し出します。 あだま」

利用ください /8月3日 (土)

ある 32

||図書館こぴ

日由です。 ます。 ます。予約は不要で出入です。専門スタッフが対たいことを気軽に話せる なかでちょ つ と相

▼期日/8月8日(1)▼会場/ マ/▽10時30分~12時・講話会、交流タイム『抗がん剤治 奈のセルフケア』…鈴木円花 変のセルフケア』…鈴木円花 を活会▼参加費/無料(お茶 茶話会▼参加費/無料(お茶 茶話会▼がよりである。 では、がん化学療法看護認定 を活会▼がよりである。 では、のの円、パステル和アー

L の保健 室室

な

▼無間/8月2 たいおすすめの本をセッたりおすすめの本をセッ

夏に読み

仁賀保分館 どうぞご 16 日 金 実習です。

(火) マスク ▼ 申込期限 /8月13日

活につ 必要になってしまいます。のことで、放置すると介護 で、ぜひご参加ください。らだの筋肉量も測定します を予防するための食生 いて学びません ル か。 のか

会場/27日金32 ぼう

遺健康推進課☎32 ル予防 「栄養教室」 3 0 0

ってしまいます。フ放置すると介護がルとは「虚弱」状態 シ

20日旧③令和7年1月 10・10時~11時3分▼全 20日旧③令和7年1月 (日) 20 ▼ · 日 日 10 (日) 時 です /齋藤真弓 会場 26 10 / 日月

4

9

三角巾、試食代記用具②筆記用具

(3 年)

0 休 0 プ

円 口

過健康推進課

% 32

3

0

申込期限/⊗月⊗日

•

1

1

健康づくり食育 0 内容は、 ません (象潟会場) 「野菜の

スマ

トフォン操作体験会 トフォンを使ってみ

スマ したい

トフォンをもっ

と考えている方

の肩

腰

首などの

痛みや骨格

ゆ

がみ解消に効果の

ある体

野菜を取り入れるの講話と、「毎1 「毎日の食生活に よう」 の調理 か? と活用

※事前予約制です。 参加費 保公民館②象潟公民館▼ 時30分~15時▼**会場**/①仁賀6日凎・11時~12時3分、13▼**日時**/①8月23日俭②9月 秋田県内にお住ま の操作 ア無料▼ 体験会です ンの貸し出しも 定員 体験用ス 体験用ス 対象

日 (火) **日** (大) **日**

分 24

ら 11時30分 10月8

会場/仁賀保公民館▼日火・10時30分~11時

操です

ペシャリスト) ▼

(姿勢改善ス

00円/回▼定員/20人。ハシャリスト)▼受講料/

ーシップ (遊学舎) 間NPO法人あきたパ あります 8 2 9 (遊 (学舎) **7**5 ()

タオル、

飲み物

月9日

過仁賀保

公民館27

3

ち物

!/ヨガマッ

-またはバ 申込期限

員を超えた場合は抽選)▼

バ ▼ (ス **持** 定

快適ライフスタイ 講座

出張図書館

館こ
い

あ

せた座学&運動 多様なライフスタイルを学 ·季節 (夏秋冬) の3回コ ロコース

います。読書を通じて、そっ本の出張貸し出しを実施して市内高齢者施設を対象に、 間図書館こびま数/50冊程度 ごしま

生き生きとした時間を過

カ月

あ **な** 32

4

間象潟公民館**な**43・2 /回▼**定員**/20人 / 車▼**定員**/20人 / 車乗運動 ● のな

,100円

捅み解消 ニスキュ は、 ひざ

暑さの感じ方は人によって異なります。体調の変化に気をつけましょう。また、熱中症患者のおよそ半数 は65歳以上の高齢者です。暑さに対するからだの調整機能も低下しているので注意が必要です。自力で水 分が摂取できない、意識がない場合はためらわず救急車を呼びましょう。

大事な水分補給!でも注意してほしい「ペットボトル症候群」

熱中症予防に重要な水分補給ですが、麦茶や水のほかにジュースやスポーツドリンク等を選ぶことも多い のではないでしょうか。しかし、これらの飲料の飲みすぎにより「ペットボトル症候群」を引き起こす恐れ があります。

〈ペットボトル症候群〉…ジュースやスポーツドリンクなどの清涼飲料水の飲みすぎで発症する急性糖尿病 のひとつで、暑い日の続く夏場は特に要注意です。清涼飲料水は糖分を多く含んでいて、飲むことで血糖 値が上がります。血糖値が高くなることでのどが渇き、また清涼飲料水を飲み血糖値がさらに上昇すると いう悪循環によって引き起こされます。

〈主な症状〉…軽症:のどの渇き・尿の量が増える・倦怠感・イライラ・吐き気等

重症:意識障害など、命にかかわることも

〈予防方法〉…水分補給は糖分の含まない水やお茶(麦茶などカフェインの含まないもの)をとりましょう。 清涼飲料水を飲むときには少量を数回に分けて飲むように心がけましょう。

熱中症を予防しましょう!



間健康推進課☎32-3000

人の体は、平常時は体温が上がっても汗や皮膚温度が上昇することで体温が外へ逃げる仕組みとなってい て、自然と体温調節が行われます。しかし「環境」「からだ」「行動」の3つの条件により、体温の上昇と 調整機能のバランスが崩れるとどんどん体内に熱がたまってしまいます。このような状態が熱中症です。



【熱中症の予防】

①「暑さを避ける、身を守る!」 〈室内では〉

- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・扇風機やエアコンで温度を調節
- ・室温をこまめに確認

〈屋外では〉

- ・帽子の着用
- ・日傘の利用、こまめな休憩
- ・天気の良い日は日中の外出をできるだけ控える

〈からだの蓄熱を避けるためには〉

- ・通気性の良い吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどでからだを冷やす

②「こまめに水分補給する!」

室内でも屋外でも、のどの渇きを感じなくても、こ まめに水分・塩分を補給する

・筋肉のこむらがえり

・筋肉痛

・大量の発汗

・立ち眩み

【熱中症の症状】

・めまい

生あくび



↓ さらに悪化すると…

- ・頭痛
- ・集中力の低下
- ・けいれん
- 嘔叶
- 倦怠感、
- 判断力の低下

